

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英語Ⅱ English II		1年	後期	金曜日・4時限 (1年CDクラス) 金曜日・5時限 (1年ABクラス)
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
堤 裕美子	講義棟3階	木曜・金曜9:00~18:00 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
これまで学習した英語力の活性化を図り、実践に役立つ英語力を養うために、日常英会話や調理・食事に関連する英語を教材として中学・高校レベルの文法事項を復習しながら、読む力と書く力を身につける授業を行う。				
授業の到達目標				
①英語の文法を正しく理解できるようにする ②英語の文章の意味を正しくと耐えることができるようにする ③自分の伝えたいことを英語で表現できるようにする				
授業の方法				
2週間で1課の学習をします。1週目はインプット(入力)クラスで、モデル会話の文法や活用法を学習する。2週目では、実際に簡単な英作文を作成することによって自己表現に挑戦する。個々人の実力に合った学習目標を設定し、常に達成度を確認しながら、能動的に授業に取り組む。				
学習の成果				
この授業を履修するとあなたは①日常生活に必要な英語表現を正しく理解する読解力が身につけることができる。②英語を言語ツールとして使う意欲と自信を身につけることができる。③自分で言いたいことを英語で伝える最低限の表現を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明(授業の方針、進め方、評価方法等の説明)			
第2回目	Unit 4: Inviting People インプットクラス(読解クラス)			
第3回目	Unit 4: Inviting People アウトプットクラス(英作文クラス)			
第4回目	Unit 5: Giving Directions インプットクラス			
第5回目	Unit 5: Giving Directions アウトプットクラス			
第6回目	Unit 6: complaning & Apologizing インプットクラス			

第7回目	Unit 6: complaning & Apologizing アウトプットクラス	
第8回目	Unit 7: Giving Advice インプットクラス	
第9回目	Unit 7: Giving Advice アウトプットクラス	
第10回目	Unit 8: Getting Information インプットクラス	
第11回目	Unit 8: Getting Information アウトプットクラス	
第12回目	Unit 9: Comparing & Contrasting インプットクラス	
第13回目	Unit 9: Comparing & Contrasting アウトプットクラス	
第14回目	スピーチ発表試験	
第15回目	ふりかえり	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	毎回の授業で英語を発話したり、自分の意見を述べる機会がある。授業への積極的な参加態度を求める。
レポート		
調査報告書		
小テスト	40%	前回の授業で学習した内容のうち、大切なものは定着を図るため、明確な指示をした上で、小テスト行う。合格ラインに達する努力を学期を通じて行ったかどうかを、点数と合わせて評価する。
中間・学期末試験	30%	英作文をし、英語スピーチとして発表する。英語の正確さと内容の独自性を評価する。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
Communication Builder(南雲堂) 2100円(本体)		
履修上の心得・ルール		
簡単な内容でよいので、国際社会で自信をもって自己表現できる英語力を身につけることができるよう、丁寧に英語を勉強し直しましょう。		

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英語Ⅱ English II		1年	後期	別途時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		必修 (選択・保育士必修、教職課程必修(幼稚園教諭2種))	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
堤 裕美子	講義棟3階	木曜・金曜9:00~18:00 (授業時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
これまで学習した英語力の活性化を図り、実践に役立つ英語力を養うために、日常英会話や幼児保育に関連する英語を教材として中学・高校レベルの文法事項を復習しながら、読む力と書く力を身につける授業を行う。				
授業の到達目標				
①英語の文法を正しく理解すること ②英語の文章の意味を正しくと耐えることができるようにすること ③自分の伝えたいことを英語で表現できるようになること				
授業の方法				
2週間で1課の学習をします。1週目はインプット(入力)クラスで、モデル会話の文法や活用法を学習する。2週目では、実際に簡単な英作文を作成することによって自己表現に挑戦する。個々人の実力に合った学習目標を設定し、常に達成度を確認しながら、能動的に授業に取り組む。				
学習の成果				
この授業を履修するとあなたは①日常生活に必要な英語表現を正しく理解する読解力が身に付く。②英語を言語ツールとして使う意欲と自信をつけることができる。③自分で言いたいことを英語で伝える最低限の表現を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明(授業の方針、進め方、評価方法等の説明)			
第2回目	Unit 4: Inviting People インプットクラス(読解クラス)			
第3回目	Unit 4: Inviting People アウトプットクラス(英作文クラス)			
第4回目	Unit 5: Giving Directions インプットクラス			
第5回目	Unit 5: Giving Directions アウトプットクラス			
第6回目	Unit 6: Complaining & Apologizing インプットクラス			

第7回目	Unit 6: Complaining & Apologizing アウトプットクラス	
第8回目	Unit 7: Giving Advice インプットクラス	
第9回目	Unit 7: Giving Advice アウトプットクラス	
第10回目	Unit 8: Getting Information インプットクラス	
第11回目	Unit 8: Getting Information アウトプットクラス	
第12回目	Unit 9: Comparing & Contrasting インプットクラス	
第13回目	Unit 9: Comparing & Contrasting アウトプットクラス	
第14回目	スピーチ発表試験	
第15回目	ふりかえり	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	毎回の授業で英語を発話したり、自分の意見を述べる機会がある。授業への積極的な参加態度を求める。
レポート		
調査報告書		
小テスト	40%	前回の授業で学習した内容のうち、大切なものは定着を図るため、明確な指示をした上で、小テストを行う。合格ラインに達する努力を学期を通じて行ったかどうかを、点数と合わせて評価する。
中間・学期末試験	30%	英作文をし、英語スピーチとして発表する。英語の正確さと内容の独自性を評価する。
発表内容(態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
Communication Builder(南雲堂) 2100円(本体)		
履修上の心得・ルール		
簡単な内容でよいので、国際社会で自信をもって自己表現できる英語力を身につけることができるよう、丁寧に英語を勉強し直しましょう。		

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
英語Ⅱ English II		1年	後期	木曜日・3時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
櫻井裕子	非常勤講師 室	木曜日12:30から1 6:00まで(授業時間 は除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
名作映画のDVDを使用し、映画中の日常表現や名セリフを教材として、リスニング・スピーキングのみならず、読む・書くのスキルの演習を行う。訳読方式を取らず、音声を重視しながら、日本人が英語で語られる内容を深く理解するために必要な、読む・書く力をつける。随時、英語絵本の読み聞かせ等を組み入れることがある。				
授業の到達目標				
映画の中の基本表現を理解し、スピードに遅れず聴き取ることができるようにする。また、その表現を自分なりに明瞭な声で、より通じる発音で表現できるようにする。「なんとなく」「曖昧に」ではない正しい内容理解のための読む・書くの力を身につけることができるようにする。				
授業の方法				
演習。その内容は ①映画を視聴しながら聴き取る ②内容理解及び発音練習 ③毎時間の一人ずつ行う小テスト である。				
学習の成果				
①通常のスピードで話される映画の中の会話表現を少しずつでも聴き取れる事ができる。②一般の英会話教材とは違う、ストーリーの流れの中での感動的な言葉に出会うことができる。③実際に自分の声を出して英語の発音をする事に慣れることができる。④英語表現をより深く理解することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス。Big Momma's House 2 ① 聴き取り、内容理解及び発音練習			
第2回目	小テスト。Big Momma's House 2 ② 聴き取り、内容理解及び発音練習			
第3回目	小テスト。Big Momma's House 2 ③ 聴き取り、内容理解及び発音練習			
第4回目	小テスト。Big Momma's House 2 ④ 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第5回目	小テスト。Gilbert Grape ① 聴き取り、内容理解及び発音練習。			
第6回目	小テスト。Gilbert Grape ② 聴き取り、内容理解及び発音練習。			

第7回目	小テスト。Gilbert Grape ③ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第8回目	小テスト。Gilbert Grape ④ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第9回目	小テスト。Gilbert Grape ⑤ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第10回目	小テスト。Titanic ① 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第11回目	小テスト。Titanic ② 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第12回目	小テスト。Titanic ③ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第13回目	小テスト。Titanic ④ 聴き取り、内容理解及び発音練習。		
第14回目	小テスト。英語絵本読み聞かせ。		
第15回目	小テスト及びレポート、その評価と解説。		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		20%	映画の英語聴き取り及び内容理解に真剣に集中する。良い姿勢でよく声を出して発音練習する。
レポート		20%	最終回及び時に応じて書くレポートが指示を十分に満たしている。
調査報告書			
小テスト		60%	毎時間の一人ずつのオーラル中心の小テストが十分な音量で流暢にできる。聞き取った英語表現を書くことができ意味を正しく理解している。
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
担当教員作成の教材を配布する。			
履修上の心得・ルール			
良い英語発音のために、毎回良い姿勢を取り、表情筋トレをするので、積極的に活動すること。使用映画は、学生の希望により変更することができる。			